

子育てのスタートを ”独り”にさせない 寄り添う支援を全国各地へ



年次報告書

目次

■ 代表メッセージ	2
■ 普及の仕組み・実績	3
■ 利用者・ボランティアの声	4
■ 新たな地域に広げる	5
■ より多くの親子に届ける	6
■ 社会への発信	7
■ 1年間の取り組み	8
■ ご支援への御礼	10
■ 会計報告	11
■ この活動を応援してください	12

2024

地域から家族ごと孤立する親子に 「大丈夫だよ、いっしょにいるよ」 を届けたい

認定NPO法人
ホームスタート・ジャパン代表理事
森田圭子



日頃よりホームスタートを応援くださり本当にありがとうございます。2024年度の年次報告書がまとまりました。ホームスタートに関わってくださる方や応援してくださる方、そしてまだホームスタートを知らない方にも読んでいただければ幸いです。

2024年度はホームスタートが日本で活動をスタートしてから15周年目を迎えた節目の年でした。開始した2009年度の13地域から今は120地域で取り組まれています。広がり背景には、各地の団体が地域に拠点を構え、育児不安や孤立感を抱える多くの家族に出会う一方で様々な理由で場や支援にアクセスできない孤立したままの親子が多数いることを実感したということがありました。

そして今、社会の様々な取り組みにも関わらず、孤立の課題はさらに大きくなっています。コロナ禍後IT化が急速に進み、合理化、効率化が求められる社会になる一方、急速に少子化が進んでいます。労働力として期待される親たちは共働きが主流となり多くが子どもを保育園に預け、仕事と家事育児をこなしています。実質賃金が上がらないことや続く物価高騰に将来設計への不安を抱えながら、息つく間もなく家族の将来に関わる選択を次から次にしていかななくてはならない、少し前の時代と比して格段に子育てする人々にプレッシャーがかかり余裕がなくなっています。母親だけでなく父親もその一割が産後うつになる、とい

うデータがあります。「これでいいのかわからない、ダメな私」と懸命に取り組みながら自信を失っていく声がホームスタートにたくさん届きます。虐待というほどまでには深刻化していないけれども、その寸前ともいえる余裕のない気持ちで地域から家族ごと孤立している家族がホームスタートに出会い、利用し、エンパワメントされています。利用家庭数は増えています。未着手の地域からも立ち上げの問い合わせが届いています。親と子に「大丈夫だよ、いっしょにいるよ」が地域から届くことは今本当に求められるものであると感じています。

昨年は3年戦略の2年目で多くの家庭にホームスタートを届けられるように①新規普及、②既存地域での周知や地域連携の深化③ホームスタートの人材養成の改善④認定NPO化⑤事務局体制の強化⑥財源基盤の強化などを掲げ取り組んできました。昨年、初チャレンジのクラウドファンディングで集まった寄付は新規普及の後押しになり、実際に今年度はここ数年で最も多い立上げにつながってきています。

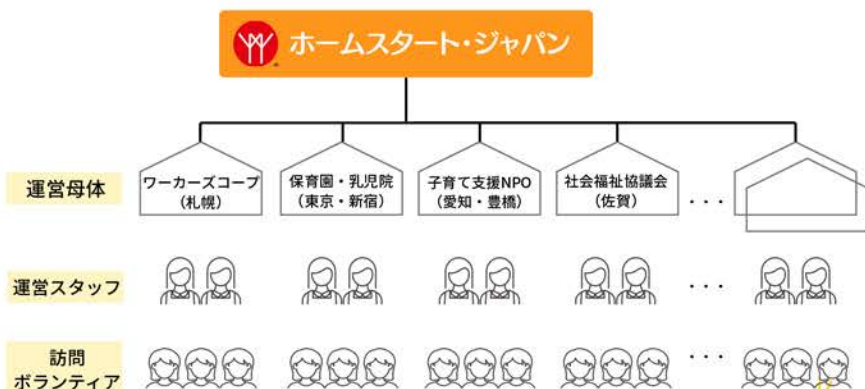
私たちは、これからも目標を高く掲げ、子育ての最初の時期に家族を傍で支え、子どもの人生のスタートをよりよいものにできるよう全力で進んでまいります。そのためには皆様の応援が必要です。これからもホームスタートへのご寄付・応援をどうぞよろしくお願いいたします。

2024年度の訪問家庭数は、初めて3千超に

活動している地域数

32都道府県

120 地域



ホームスタートは地域密着の活動で、全国各地のNPO法人、児童養護施設、保育園・幼稚園、社会福祉協議会など、さまざまな団体が運営母体になっています。団体ごとに、運営の中心になるスタッフがいて、訪問ボランティアを募集し、充実した研修を実施し、利用者とマッチングし、必要な対応を随時行うことで安心・安全な訪問ができる仕組みです。ホームスタート・ジャパンは各地の団体をサポートし、新しい地域での立ち上げを進める役割を果たしています。

年間の利用家庭数

3,105 家庭



利用家庭のうち、
0歳児のいる家庭が59%



訪問実績

16年間で18,700家庭に

132,000回

登録ボランティア

4,000人



「孤立感の解消」
充足度

95%

「子どもの成長・発達
を促す機会を作る」

90%

「親自身の
心の安定」

93%



ホームスタートでは、訪問が始まる前に利用者のニーズ、訪問終了後に充足度を聞き、訪問の効果を実証するデータを蓄積しています。毎年、9割の家庭で悩みが軽減されています。

「ひとりでがんばらなくていいんだ」

利用家庭からの声

誰でも使えるホームスタートですが、利用するきっかけは、「転勤などで引っ越し、近所に頼れる人がいない」「育児に不安感や疲労感を抱える」「双子や年子の世話で手が足りない」といった理由が多い。



人が家に入ることのイメージが覆された

Y・Aさん

人が家に入ることへのイメージが覆されたというか、「片付けとかしないで、そのままでもいいから」と言ってもらえたのが、まずすごく安心できました。利用する前は、自分自身が人が家に来ることに抵抗があるタイプだったので、使ってみてこんなに助かるんだと気付けたので、迷いがある方だったら、ちょっと一歩踏み出して活用されると、すごく良い経験になると思います。



動画でも！



自信をなくしていた私の助けに

田中穂さん

利用のきっかけは夫の「人を頼ることも努力」というひとことでした。甘えたい盛りの長男、声が枯れるまで大泣きする生後2か月の次男。私は思いつめた表情をしていたと思います。そんな私にボランティアとしての一線を越えずに、いつもキレイにしているとか子どもが成長しているとか、何気ないことを伝えて下さることが、何に対しても自信をなくした私にとって何よりの助けになりました。



動画でも！



誰かに頼ることを体感する場に

柴田沙織さん

誰か大人がそばにいる、それは家族じゃなくてもいい。ママたちが誰かに頼ることを体感する場になる。「ひとりでがんばらなくていいんだ」というところに尽きるんじゃないでしょうか。ママの心が落ち着いていたら、子どもたちも落ち着くし、行政の方が対応しきれないところもあると思うので、「助けて」とママたちが勇気を持って言えれば支えてくれるところがあるのは、すごく意味があると思います。

訪問ボランティアからの声

訪問ボランティア（ホームビジター）は全国に4,000人。50代、60代の子育てを終えた世代の方が多い。参加理由は「自分も苦労した子育ての経験を活かしたい」など。



ママがひとりでこなしている姿に頭が下がる思い

山崎雅美さん

ボランティアを続けてきて思うのは、今のママたちは大変だということです。一番驚いたことは、予防接種の予約票が一冊の分厚いノートようになって複雑化していて、私だったら3人子どもがいて訳が分からなくなっていたと感じました。

私は義母がいて本当にありがたかったので、ママたちがひとりでこなしている姿に頭が下がる思いで、育児をお手伝いできればという気持ちです。



記憶に残る関わりができる活動に誇り

宮原智子さん

ビジターとして8年ほど活動していますが、訪問した方と街中で偶然再会する機会が何度もありました。閉じこもりがちな子育てから、自ら外へ踏み出す子育てに変化していて、とてもうれしい再会でした。

関わったお子さんが自分のことを覚えてくれていることも多く、その責任の重さも感じますが、記憶に残る関わりができるこの活動に参加できていることを誇りに思っています。



利用者さんとボランティアさんの声を伝えるホームページはこちら

check!



2024年度は新たに4地域で活動開始

2009年に13地域で始まったホームスタート。着実に活動地域を広げ、2024年度は群馬県前橋市、千葉県流山市、山梨県富士河口湖町、愛知県安城市で新たに活動が始まりました。

縁がつながって、活動が始まった千葉・流山市

活動立ち上げの経緯をホームスタート・はぐはぐの2人のオーガナイザー（運営スタッフ）に聞きました。

山口文代さんは、千葉県松戸市の市職員として女性支援に長年携わり、数多くの講座などを企画してきました。退職後、住まいのある流山市で活動、ホームスタートのことを知ったのは2024年のことでした。

「動き始めたらすごくタイムリーで、風が吹いていた」と話す山口さん。以前、講座に参加してくれた人が地元NPOの代表になっているなど協力者もいて、一気に話が進んだそうです。

國岡季実子さんは数年前に子育て講座に参加したのがきっかけで、山口さんと一緒に活動するようになりました。ホームスタート・ジャパンの山田幸恵事務局長を説明に招いた際のことが記憶に残っています。「山田さんの話を聞いた皆さんが『これなら私でもできる』と言ってくれたのが、すごく大きかったです。資格がないとできないことが多い中で、寄り添いだったら私もできるし、私もこういうのが欲しかったと」

2人は2025年2月にオーガナイザーになるための研修を受

け、その後のボランティア養成講座は流山市が助成してくれることになりました。

14人がボランティア養成講座を受講、10月に訪問を始められるように準備を進めていて、山口さんは「ワクワクしてます。新しいものが始まるのは不安もあるけど、ワクワクが大きいですよ」と話しています。



ホームスタート・はぐはぐ

山口文代(写真左)、國岡季実子オーガナイザー



初開催のボランティア養成講座

2025年度は、8月までに7地域で活動開始、33都道府県に

2025年度は例年以上に新しい地域での立上げに注力しています。8月までに神奈川、山梨、岐阜、広島、愛媛、大分の計7地域で活動が始まり、愛媛県内では初の地域団体が誕生したため、32都道府県から33都道府県に活動地域が広がりました。これらは、4月から始まった日本財団助成事業や、1～3月に初挑戦したクラウドファンディングでの皆さまからのあたたかいご寄付を活用したもので、大きな推進力となっています。



利用者、ボランティアを増やすために伴走

2024年度、ホームスタート・ジャパンでは伴走プロジェクトに参加を希望する地域団体を募り、11団体が参加。地域ごとに利用者の申し込み経路を分析、保健師や子育てひろばからの紹介を増やす方策などを議論し、年間を通して取り組みました。

保健師とのつながりが一番の成果 山梨・笛吹市

伴走プロジェクトに参加して感じたことをホームスタート・ゆうゆうゆうのオーガナイザーに聞きました。

「すごく宿題が多い！できるかなこれ…」というのが星合優里さんの第一印象でした。利用者を増やすために必要なことを探るため、行政や子育て関係機関との連携の度合いや広報発信の種類や頻度など、数十項目のアンケートへの回答をまず依頼されたからです。ひとつずつチェックしていくと、「これ全然やってない」という項目も出てきて、「心が痛い宿題」になったそうです。

その中でも重要課題として取り組んだのが保健師さんたちとの関係強化でした。ホームスタートの特徴をわかりやすく説明する資料を用意し、市役所や健診会場など情報共有できる機会を増やしていきました。その結果、「以前はこちらからお願いして必要な情報を教えてもらっていたのが、今では保健師さんから『〇〇さんのところに行ってほしい』など連絡をもらえるようになったそうです。積極的にママを紹介してくれる保健師さんは1人から5人に増えました。

岩間かおりさんは「人とのつながりが、何かをするとさらにつながり、どんどん大きく広がっていくのを感じた1年でした」と話しています。

2024年度は利用家庭数が倍以上に増え、2025年度に入って申し込みはさらに伸びています。



ホームスタート・ゆうゆうゆう
星合優里（写真左）、岩間かおり
（中央）、橘田さつきオーガナイザー

外国人家庭を支援するボランティアのための講座を開催



現在、日本で生まれる子どもの25人に1人は外国にルーツを持ち、ホームスタートを利用する外国人家庭は年々増えています。言葉の壁を越えてコミュニケーションをとるときに役立つ「やさしい日本語」の活用を体験し、外国人家庭の困り事や支援のポイントを学ぶことができる講座を8月にオンライン開催しました。

学齢期の子どもにも広げるためプログラムを試行



小学生のお子さんと
子育て中のあなたへ

ホームスタートの対象は乳幼児のいる家庭ですが、いわゆる「小1の壁」に直面した親の相談や、小学生の家庭も訪問できないかという自治体からの声を聞いています。そのため、一部地域で試行を重ねてきました。学齢期の子どもについて学ぶための研修も開発、2025年度から本格的に広げていくことを決めました。

こども家庭庁の責任者を招いてイベントを開催 家庭訪問に取り組む他団体と連携して政策提言

愛知県主催、交付金を活用した事業紹介



愛知県では2020年から継続して県の支援を受けることで、ホームスタートの活動を行う地域がひとつの市から、11の市と町に広がっています。7月に開催したセミナーでは、こども家庭庁からも登壇していただき、ホームスタートを実施する際の交付金活用や官民連携について紹介しました。

社会福祉協議会で取り組むホームスタート



「子育てを地域で支える共生のまちづくり」と題したオンラインセミナーを7月に開催。兵庫県尼崎市と宮崎県小林市の社会福祉協議会の活動事例を紹介しました。地域福祉の要として機能している社会福祉協議会がホームスタートに取り組んでいる市町村が全国各地にあります。

家庭訪問型支援の団体で連携、政策提言も



認定NPO法人バディチーム、認定NPO法人ホームスタート・ジャパン、NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会の3団体が世話人を務める「こども・子育て訪問ネット」がイベントや勉強会を継続的に開催。こども家庭庁に「家庭訪問型」支援の重要性などを訴える政策提言と意見交換をしました。

森田代表が「母子手帳」デジタル化の検討会委員に



紙の冊子の母子健康手帳に親しみを感ずますが、国では2026年度以降、電子版を原則にしてい方針を打ち出しています。こども家庭庁が2024年7月から開催した「電子版母子健康手帳ガイドライン（仮称）策定に向けた検討会」に、当団体代表の森田圭子が委員として参加しました。

主なメディア掲載



2024.8.31
YouTube

動画チャンネル
「THE THREE FLAGS」
で森田代表にロング・インタビュー



2024.11.6
KSB瀬戸内放送

岡山でのホームスタートの活動を地元ニュース番組で解説付きで紹介



2024.11.29
NHKラジオ深夜便

能登支援を続けている石川県白山市のオーガナイザーがラジオに生出演



2025.3.1
たまひよONLINE

知名度の高い子育て雑誌のホームページが前・後編の記事で詳しく紹介

15周年記念フォーラムを開催



東京・大手町のSMBCホールに150人、オンラインで250人が参加。
柏女霊峰・淑徳大学総合福祉学部特任教授、山本昌子・ACHAプロジェクト代表、
大萱亮子・(株)三井住友フィナンシャルグループ社会的価値創造推進部上席推進役、そして3組の親子と
ボランティアが登壇しました。(株)サカイ様、旭精工(株)様、ご協賛ありがとうございました。

オレンジウオークに全国から参加



石川・白山市



福島・矢吹町



埼玉・吉川市



青森市



宮城・仙台市



埼玉・和光市



山梨・富士河口湖町



広島市



愛知・武豊町

11月の児童虐待防止月間にあわせて歩くキャンペーンに2,130人が参加し、合計2億8千万歩も歩き、36万円のご寄付をいただきました。2025年11月も一緒に歩きましょう！

能登への支援を継続しています

2024年元旦の能登半島地震の直後から募金の呼びかけを始め、石川県内のふたつの地域団体を通じて被災地の支援に取り組んできました。2024年4月以降も支援を継続していましたが、9月の豪雨の後にあらためて募金を呼びかけ、その後も支援を続けています。



12月24日、マテル・インターナショナル（株）様から寄贈いただいた玩具を、珠洲市、能登町、輪島市の全こども園、保育園を訪ねて子どもたちに届けました。

2024年度のご寄付 1,251,867円



（株）ソラスト様、パーソルグループ様、お茶の水女子大学児童学科及び発達臨床学・発達臨床心理学・子ども学関連学科同窓会ジネット様、（公社）東京青年会議所新宿区委員会OB会けやきの会様には、特設の募金サイト・募金箱を設置してご寄付をお寄せいただきました。

大阪マラソンに、寄附先団体として参加



チャリティランナー専用控室に
当日朝に集合



大阪の地域団体スタッフと
東京から参加し、沿道で応援

2025年2月24日に開催された大阪マラソンに寄附先団体として採択され、東京、愛知、大阪のホームスタート関係者・支援者など、10人のチャリティランナーが走りました。

チャリティランナーを
通じたご寄付
126人から758,087円



大阪マラソン主催者から
寄付の分配
831,764円

初めてのクラウドファンディングへのご支援



2025年1月～3月に実施し、

**計239人から
368万5千円にのぼるご寄付**

をいただきました。

本当にありがとうございました！

いただいたご寄付を活用し、ホームスタートの活動を新しく始める地域が既に2地域固まり、候補となる団体も続いています。

ご支援いただいた企業・団体の皆さま



15周年記念イベントを共催



新規事業の子育て支援講座で連携



2023年度から3年間の資金援助と経営サポート

ご支援いただいた寄付者の皆さまからの声

養田秀策さん

「たくさんお子さんを育ててください」と我々も、国も含めてお願いしながら、実際には放っておかれた状態で子育てをしなければならない人たちが多いのではないでしょうか。「子どもは社会みんなで育てる」ということを確認したい。それを正面から取り上げている、掛け値なしに非常に大切な活動だと思います。



Azusaさん

子どもたちが赤ちゃんだった頃を思い出すと、たくさんの楽しい思い出と共に、しんどかった、そしてがんばっていた、そんな自分をねぎらってあげたくなり、今でも涙が出ます。あの頃の自分にかけてあげたい言葉を、今がんばっているママパパへ、ホームスタートの皆さんから届けてもらえたら、うれしいです。



活動計算書（2024年度）

科目	金額	小計・合計
【A】経常収益		
1. 受取会費		3,640,000
正会員受取会費－個人	100,000	
正会員受取会費－団体	3,540,000	
2. 受取寄附金		6,476,292
受取寄附金－一般寄付金	4,427,562	
受取寄附金－使途指定寄付金	2,048,730	
3. 受取助成金等		11,869,648
受取民間助成金*1	10,000,000	
事業受託収益－愛知県業務受託料	1,869,648	
4. 事業収益		4,894,128
ホームスタートに関する情報提供事業収益	2,004,728	
地域スキームの設立および運営支援事業収益	2,889,400	
5. その他の収益		82
受取利息	82	
経常収益計		26,880,150

*1 日本ベンチャーフィランソロピー基金より

総括

2024年度は、大型助成2年目で事務局の体制強化などを進め、収入2,688万円、支出2,652万円、繰越36万円で、前年度とほぼ同じ財政規模でした。

能登半島地震・豪雨への支援募金を継続、15周年記念のイベントを企画、大阪マラソンとクラウドファンディングは初めての挑戦でした。2024年度決算に計上した寄付金が647万円、加えて会計処理の関係で2025年度に計上する金額が360万円あるため、実質的には1,007万円のご寄付をいただきました。ご支援に心から御礼申し上げます。

2024年8月に認定NPO法人の認定を申請、**2025年5月に東京都から認められ、皆さまからご寄付をいただきやすくなりました。**今後ともご支援をよろしくお願い致します。



科目	金額	小計・合計
【B】経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		7,371,791
役員報酬	3,575,000	
雑給	3,212,389	
法定福利費	584,402	
(2) その他経費		15,674,859
講師謝金	891,400	
諸謝金	747,150	
旅費交通費	2,527,878	
会議費	453,035	
交際費	13,300	
通信運搬費	773,220	
消耗品費	616,548	
新聞図書費	121,166	
会場借料	329,293	
印刷製本費	1,190,512	
水道光熱費	47,364	
支払地代家賃	563,805	
諸会費	210,350	
委託費	4,039,100	
支払手数料	1,180,323	
補助金	701,000	
支払寄付金	1,243,332	
雑費	26,083	
事業費計		23,046,650
2. 管理費		
(1) 人件費		1,571,821
役員報酬	885,000	
雑給	641,866	
法定福利費	449,556	
(2) その他経費		1,898,285
諸謝金	3,600	
旅費交通費	435,653	
会議費	23,257	
通信運搬費	67,533	
消耗品費	145,263	
研修費	4,000	
会場借料	1,700	
印刷製本費	67,208	
水道光熱費	47,363	
支払地代家賃	563,640	
保険料	19,329	
委託費	48,000	
支払手数料	467,150	
租税公課	1,212	
雑費	3,377	
管理費計		3,470,106
経常費用計		26,516,756
当期経常増減額【A】－【B】		363,394
税引前当期正味財産増減額		363,394
法人税、住民税及び事業税		0
前期繰越正味財産額		11,831,550
次期繰越正味財産額		12,194,944

この活動を応援してください

**ご寄付は、親子の孤立を防ぐ活動に活かされています。
あなたのご支援が、より多くの親子に寄り添う力になります。**

毎月の寄付で支援する



たとえば、毎月3,000円で子育て家庭1世帯にボランティアが継続的に訪問し、孤立を防ぐつながりを届けることができます



たとえば、毎月10,000円で6人のボランティアが、支援に必要な研修を受け、より多くの家庭に寄り添うことができます

ホームスタート・ジャパンのホームページから、金額、寄付の方法、時期などを自由に選んで、簡単にお手続きいただけます。

<https://www.homestartjapan.org/>



ご寄付は、最大約50%が戻ってきます

ホームスタート・ジャパンは2025年5月から、東京都の認定を受けた「認定NPO法人」となりました。寄付金受領証明書（領収書）を添えて確定申告を行うことにより、国税と地方税をあわせて、寄付金額の最大約50%が税額から控除され、戻ってきます。

※住民税の控除割合についての詳細は、お住まいの自治体にお問い合わせください。



企業・団体の皆さまからのご寄付をお待ちしています

子どもの育ちや子育て家庭を支えるパートナーとして、企業・団体の皆さまからのご支援をお待ちしています。事業での連携や、産休・育休中の社員のための取り組みなども可能性があると考えていますので、まずは気軽にお問い合わせください。（認定NPO法人として寄付金は一定範囲で損金算入できます）

詳しくはこちらから



認定NPO法人ホームスタート・ジャパン

〒169-0072 東京都新宿区大久保3-10-1-B棟2F

TEL 03-5287-5771 info@homestartjapan.org

<https://www.homestartjapan.org/>

ホームスタート・ジャパン



SNSやLINEなどでも応援お願いします！



Facebook



Instagram



X(Twitter)



YouTube



LINE



メルマガ登録